

「自立訓練（生活訓練）」とは？
知的障がいや精神障がいのある人が利用し、地域生活を営む上で、生活能力の維持・向上のための訓練などをおこなう「障がい福祉サービス」のひとつです。日常生活能力を向上するための支援や生活に関する相談など、それぞれに適応した支援・訓練をおこないます。

「就労移行支援」とは？
一般企業への就職を希望している、障がいのある65歳未満の人を対象としたサービスです。事業所によって様々ですが、就職に対する知識やスキルアップのための訓練・講義などを受け、それぞれが持つ可能性を広げていきます。その後、実際に色々な職種や職場を体験してもらい、周囲のサポートも受けられる中で就活へと進んでいく形です。また「就労継続支援A型・B型」という、目的や対象、雇用契約などの違いがあるサービスも存在します。手厚く各サービスを受けられるよう、事業所数も年々増加傾向にあります。

自立・働くを支援する！

自立訓練（生活訓練）・就労移行支援の仕組みを知ろう

「自立訓練（生活訓練）・就労移行支援」が必要な理由



病気を患い長期間入院していた、または何かのきっかけで引きこもりになったなど、世の中には様々な理由で、日常生活に必要な能力が低下している人が存在します。今回は、そのような人を対象とした福祉サービスについて、吹田・豊中地域の障がい福祉サービスに携わる人へ話を伺いましたので、ご紹介します。

就労移行支援、就労継続支援A型・B型の違い

	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型
目的	就職のために必要なスキルを身に付ける	生産活動の場の確保と一般就労に向けた訓練など	生産活動の場の確保と一般就労に向けた訓練など
対象者	一般企業への就職を希望する人	現時点で一般企業への就職は困難であるが、適切な支援により雇用契約に基づく就労が可能な人	現時点で一般企業への就職は困難であるが、知識や能力の向上・維持が期待される人
雇用契約	なし	あり	なし
年齢制限	65歳未満		
利用期間	原則2年間以内		

※厚生労働省障がい者の就労移行支援対策の状況より抜粋（上記グラフ、表）
※詳しくは各自治体・事業所等にお問い合わせください。

- 就労までの大まかな流れ
- ① 相談
就職に向けての希望や困りごとを相談。自身の強みや適性などを分析してもらう。
 - ② 就職活動の準備
作成してもらった就職支援プランに沿って、就職に関する情報収集や講義などに参加。就職に関する知識を身に付ける。
 - ③ 職場や職種を体験
体験してみたい仕事など、希望を相談のうえ、実際の企業に出向き、色々な職種や職場を体験。
 - ④ 就職活動
履歴書の書き方、面接の受け方などの練習をサポートしてもらいながら、求職を申し込む。
 - ⑤ 就職後もサポート
継続の相談や支援を希望することで、スタッフと定期的に面談しながら、職場定着のサポートが受けられる。



「人とコミュニケーションが難しい人であれば、まずは通所することに絞って利用を開始してもらい、少しずつ慣れていってもらえたら」と話すのは代表の桑田さん。様々な体験をスタッフがサポートしてくれる。



（上）パソコンスキルの習得も。MOS、ワード・Excel・パワーポイントの資格を取得する方もいるそう。（左）18歳以下の不登校の子たちが立ち寄れるスペースを定期的に開放。次回は1月10日（金）、1月31日（金）を予定。

自立訓練 焦らず自分のペースで社会参加を一人ひとりの自立を総合的にサポート

「ひきこもりがちで毎日通える場所が欲しい」「人と関わるのが苦手な自信がない」……、不安を抱く方の心強い味方になってくれるのが同センターだ。ひきこもり支援の専門アドバイザーが対応し、一人ひとりの状況に合わせて細やかなサポートしてくれる。レクリエーションや調理実習、ボランティア活動やパソコン講習などもあり、個々人のペースで無理なく過ごしている。さらにIT企業と連携しての就労体験も企画しており、新たにプログラミングやwebデザイン系の講習もスタート。まずはご相談を。

Interview

1998年より居場所提供を中心として、ひきこもり支援を行ってきました。2016年1月に吹田市初のひきこもり支援のための福祉事業所として当センターを開設。就労支援機関を利用する一歩手前までの支援「自立訓練（生活訓練）」を行っています。一人でも多くの方に支援を届けたいと思っています。相談は随時受け付けておりますので気軽にご連絡ください。

サポートセンターフルハウス 管理責任者 桑田 州 さん

保護者向け無料セミナー
～現状改善に向けて～

子どもの自立に悩むご家族を対象に、「当事者にどのように関わっていけば良いのか」をテーマのセミナーを開催

1月18日（土）・25日（土） 16時～
定員各10名、要予約

サポートセンター フルハウス

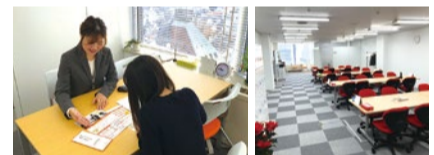
吹田市千里山東2-22-14
ラポール千里山201
開所時間／月～金：10時～16時
阪急千里線千里山駅、東側出口より徒歩1分

☎06-6339-6760
npofullhouse.com/support-center/



就労移行支援 関東で10事業所運営 パーソルグループが展開する ミラトレ梅田1月OPEN

総合人材サービス、パーソルグループが展開する就労移行支援事業所が1月6日梅田に開設。同事業所を運営するパーソルチャレンジは300名以上の障がいのある社員が在籍、グループ内の業務を受託している。その「経験」が支援の土台となっているので、より深いサポートが可能に。関東で10事業所を運営してきたノウハウで、独自の支援プログラムを開発。事業所外での実習や、外部講師による多様なセミナーも多数。ミラトレを卒業してからの定着支援もしっかりしてくれるので安心だ。



（上）「まずはお気軽に見学に起こしてくださいお待ちしております。気さくなスタッフが迎えてくれる。（下左）企業目録で一人ひとりに、その人に最適なカリキュラムを提案。

ミラトレ梅田
大阪市北区梅田 1-2-2
大阪駅前第2ビル 11階
開所時間／月～金：9時～17時
☎06-6131-9693 <https://mirai-training.jp/>

見学相談会・プログラム体験会 随時開催中
※就職活動中、または就職を目指している方対象



個々のペースに合わせたプランを明確に。就労後は定着支援もしっかり行ってくれるのも心強い。

カゲモン性格診断

アップル梅田、就業訓練の一環で通所者がスマホアプリを開発。

自立訓練・就労移行支援 特色活かした独自の支援で一人ひとりに向き合う責任のあるサポートを

ミント大阪は、福祉事業型専攻科（自立訓練2年、就労移行支援2年）で最大4年をかけて自立を図ることができる。いきなり就職はハードルが高いという方に向けて、まずは生活支援で基盤を作り個々のペースに合わせたサポートを。アップル梅田は、ITに特化した就労移行支援。プログラミング（Java・C＃ウェブ）スキルを身につけ、運営のシステム開発会社でのリアルな企業実習も可能。

From CityLife CityLife 読者モデル募集中

情報紙CityLifeでは、グルメ・美容・レジャーなど読者モデルとして実際に体験していただける方を募集しています。ご応募お待ちしております。

【応募方法】下記URLかQRコードよりエントリーください。
<https://goo.gl/WE7u31>

※ご依頼の際は編集部より改めてご連絡いたします。

就労移行支援 アップル梅田
大阪市北区神山村6-4
アクシス梅田ビル5F
開所時間／10時～17時
☎06-6948-6252
<http://apple-osaka.com>

福祉事業型専攻科 ミント大阪
大阪市北区天神橋3-8-9
新末広ビル6F
開所時間／10時～17時
☎06-6335-9200
<http://mint-osaka.jp/>